

2016.11 水産大学校予想問題 5

水産資源を守るための方法には、どのようなものがあるか。現在進行中の取り組みを挙げたうえで、あなたの考えや意見を 800 字以内で述べよ。

現在、世界中の海の生物資源が減少している。その原因として、世界規模で水産物の消費が拡大したことで魚介類の乱獲が起きたことと、地球温暖化による海洋環境が変化してきたことが考えられる。私たちはどのようにして水産資源を守ることができるのか。3つの視点から考えたい。

第一は、養殖など育てる漁業の活用だ。養殖は、天候などの外的な要因を取り除くことで魚介類の生育の管理が容易になるため、生産性を高めることができる。養殖技術が向上すれば、天然の海洋資源の漁獲量を減らすことができる。ただ、養殖には生餌として天然魚が用いられることがあるため、代替できる餌の研究開発を進める必要がある。

第二に、漁獲量や漁獲方法に規制を設定することだ。現在、太平洋のクロマグロが減少し、漁獲量を規制する動きがあるが、大西洋クロマグロの関しては実際に漁獲量を厳しく制限した結果、資源が回復したという事例がある。また、日本でもズワイガニで漁期や漁獲サイズを制限することで乱獲を防ぎ、資源を保護している事例がある。私は希少傾向にある水産資源には、長期的な視点にたつて積極的に規制を導入すべきだと考える。

第三に、国レベルだけではなく、地域のレベルでも水産資源を守る活動に取り組むことだ。各地で海辺のゴミ拾い活動や海藻の一種で魚介類の繁殖場所となるアマモの増やす活動が広がっている。これらの活動は、身近な海の問題を通して水産資源に関する関心呼び起こし、意識を変えるきっかけになると考える。

魚介類の消費は、世界人口の増加や健康志向の高まりを背景に今後ますます増えていくだろう。しかし、水産資源は有限だ。しかも、それは地球の7割を占める海の問題で、地球環境の問題とも深く結びついている。私たち一人ひとりが意識を少しだけ意識を変えることが、水産資源の保護や環境保全につながると考える。